

平成23年度 日野市行政評価システム「市民評価結果一覧表」の見方

事業番号	事務事業名 事業概要	所管部署	評価区分	評価結果内容						
				評点(各項目0点～5点)				総合評価	評価者意見等	
	必要性			効率性	有効性	合計評点				
①	②	③	④	⑤				⑥	⑦	
3	平和事業関係経費 8月を平和月間と定め、平和展の実施と平和映画を上映し平和意識の高揚を図る。	文化スポーツ課	市民	4	4	3	11	D	有効性を改善	・平和事業基金の設置目的に、核兵器廃絶・平和都市宣言、国際交流が掲げられている。平和事業、国際交流の枠組みを広げてみてもいいのではないか。 ・平和展、映画会とも観覧者が少ない。作成したり、借りたりしたパネルなどのコンテンツを活用した巡回展示や大震災被災者・支援経験者、海外派遣経験者の講演会など、年間を通した行事を行うことにより、参加者を増やしていく。そのためには、市民団体などとの協働が必要となる。コスト増は類似事業の多い映画会中止で賄う。 ・戦後70年を迎える平成27年度に向け、段階的に市民協働による事業を採り入れていく。予算が必要であれば、市民合意の上、基金を取崩し、事業経費に充てる。
			本部	4	4	3	11	B	維持・継続	・真の平和についての呼び掛けは市としても実施していく必要がある。 ・現状の事業では市民の平和意識の高揚効果は少ない。事業目的に合致した形で、より多くの市民の方が平和について考えることのできる事業にしてい
			所管部署	4	4	3	11	D	有効性を改善	戦争の悲惨さや平和の尊さを訴えるだけでなく、東日本大震災による災害復興を支援することも視野にいれながら、「平和展」を引続き実施し、さらなる事業の展開として戦後70周年記念事業として「平和コンサート」「平和祈念講演」等を計画し、平和意識の普及啓発を進めていく。

① 所管部署で平成22年度に実施した事務事業のうち、市民評価対象となった31事業の事業番号を表示しています。

※平成23年度の行政評価システムは全体で72事務事業を評価しています。事業番号が飛んでいるのは市民評価対象とならなかった事務事業となります。なお、全事務事業については、「平成23年度 行政評価システム 評価対象全事務事業一覧リスト」をご覧ください。

② 評価対象の事務事業名及び事業概要を表示しています。

③ 該当の事務事業を実施した所管部署名を表示しています。

④ 所管部署評価、行財政改革推進本部評価及び公募市民による市民評価(第三者評価)の区分を表示しています。

⑤ 各評価者が各事務事業を「必要性」「効率性」「有効性」の3つ視点から総合的に評価した評点(各項目0点～5点)を表示しています。

【必要性】「市民が主役のまちづくりのために、市が行う必要があるのか」の観点から事務事業の必要性を評価

【効率性】「事業の成果を維持して、ムダなく効率的に展開できたか」の観点から事務事業の効率性を評価

【有効性】「事業の成果をより高めることが出来たか」の観点から事務事業の有効性を評価

⑥ 各評価者は、評価内容の「必要性」「効率性」「有効性」に従い、次のように総合評価(今後の方向性)を7区分で判定したものを表示しています。

A:「拡大・充実」、B:「維持・継続」、C:「効率性を改善」、D:「有効性を改善」、E:「効率性・有効性を改善」

F:「抜本的見直し」、G:「休止・廃止」

⑦ 評価した事務事業の、今後の方向性に関する各評価者からの意見等を表示しています。